# 第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市に関する公募説明会

令和７年１月14日

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

イノベーション推進担当

# 第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に向けた基本的考え方

## Beyond Limits. Unlock Our Potential.
## To the Next Stage.

令和７年１月

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

現状

# スタートアップ・エコシステム拠点都市

スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略（令和元年６月内閣府・文部科学省・経済産業省決定）に基づき、
**エコシステムの中核となる拠点都市を８つ選定**（2020年7月）

## 【グローバル拠点都市】

### ①スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム
### （東京都、渋谷区、川崎市、横浜市、茨城県、つくば市、千葉市等）

スタートアップやVC・大企業等の支援者が圧倒的に集積する東京都心部（渋谷、六本木・虎ノ門、大手町・丸の内、日本橋）を核に、ハブ＆スポークの連携で研究開発拠点を有する各都市（川崎、つくば、横浜、千葉）と連結。東京大、慶応大、早稲田大など有力大学連携で研究開発成果の事業化を促進。各自治体を中心としてスタートアップの新技術・新サービスの実証フィールドを提供。「新しい日常」に対応するデジタル・トランスフォーメーションも推進。

虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター「ARCH」

### ②Central Japan　Startup Ecosystem　Consortium　（愛知県、名古屋市、浜松市等）

日本を代表する製造業の集積とスタートアップとの繋がりでイノベーション創出を加速。モビリティ、AI・デジタル、インフラ、ヘルスケア、アグリ、光などを重点分野に協創プロジェクトを推進。名古屋大学を中心とする大学群で起業家教育・デジタル教育を強化。日本最大級のスタートアップ支援拠点「STATION Ai （フランスのSTATION Fと連携）」を整備。

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE

### ③大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム　（大阪市、京都市、神戸市等）

三都市の強みを融合（大阪：大企業、資金、人材、京都：研究シーズ、製品化支援、神戸：社会実証実験・公共調達）。ヘルスケア、ものづくり、情報通信分野に重点。大阪大学、京都大学、神戸大学を中心に大学・研究機関、企業が連携。「大阪・関西万博」に向け経済界を含め京阪神一体となった支援体制を構築し、スタートアップの新技術・新サービスの機会創出を実施。

Hack　Osaka

### ④福岡スタートアップ・コンソーシアム　（福岡市等）

2012年「スタートアップ都市宣言」以降、スタートアップカフェやFukuoka Growth Nextの設置など、官民共働でスタートアップ支援を実施。九州大学を中心としたアントレプレナー教育の充実や、独立系VCの活躍、大型スタートアップイベントの開催、海外との連携強化などエコシステム形成が加速中。国家戦略特区などの国の支援策に、市独自の施策を合わせることで、一気通貫型のスタートアップ支援を実施。

Fukuoka Growth Next

## 【推進拠点都市】

⑤札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会（札幌市等）　⑥仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会（仙台市等）
⑦広島地域イノベーション戦略推進会議（広島県等）　⑧北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム（北九州市等）

※各拠点都市において、2020年度～2024年度の間で達成すべきKPIを独自に設定。

現状

# スタートアップ・エコシステム拠点都市の取組の概況（1/3）

## 東京

| 開始時（2020年度～） | 実績（2023年度末） | KPI（2024年度末） | KPI達成率（2023年度末） |
|---|---|---|---|
| **ユニコーン** | | | |
| 3社 | 13社 | 20社 | 65% |
| **スタートアップ・エコシステムランキング** | | | |
| ランキング対象外 | 世界10位 | 世界10位 | ― |
| **大学発ベンチャー数（加盟大学の総計）** | | | |
| 533社 | 1,643社 | 倍増（1,066社） | 達成 |
| **行政課題解決プロジェクト創出数** | | | |
| ― | 137件 | 50件 | 達成 |

**東京都心部を核として、つくば市・茨城県、川崎市、横浜市、千葉市とハブ＆スポークの形で連携。**

**自治体の取組**
- ●スタートアップ・エコシステムランキングで2024年世界10位を達成。東京都が中心となり、自治体、スタートアップ支援者、経済団体、大学等を巻き込み、海外展開支援やNextユニコーン創出等を推進。
- ●スタートアップによる自治体の課題解決を目指し、実証実験や公共調達を推進。（東京都、渋谷区、茨城県、つくば市等）

**民間の取組**
- ●49社のVC、11社のアクセラレータが加盟。渋谷のQWS（東急）、丸の内のInspired Lab（三菱地所）、虎ノ門ヒルズインキュベーションセンターARCH(森ビル)、日本橋のライフサイエンス拠点（三井不動産）等が活動強化。

**大学の取組**
- ●トップ大学の集積に強み。25の大学がコンソーシアムに加盟し、スタートアップ創出・育成を推進。

**グローバル**
- ●世界的スタートアップイベントを誘致・開催し東京圏のスタートアップ情報を発信。アジアからの投資呼び込みに重点化。
- ●外国企業誘致に向けPRや窓口強化。スタートアップビザの活用等により外国人の創業活動を促進。

## 名古屋・浜松

| 開始時（2020年度～） | 実績（2023年度末） | KPI（2024年度末） | KPI達成率（2023年度末） |
|---|---|---|---|
| **ユニコーン** | | | |
| 0社 | 0社 | 5社 | ― |
| **売上100億円以上のスタートアップ** | | | |
| 0社 | 1社 | 10社 | 10% |
| **資金調達額** | | | |
| 87億円 | 793億円 | 1,000億円 | 79% |
| **海外スタートアップとのビジネスマッチング共創件数** | | | |
| ― | 589件 | 400件 | 達成 |

**世界的な製造業の集積地において、研究開発の集積から生まれるディープテックを活かしたエコシステムを形成。**

**自治体の取組**
- ●スタートアップ支援拠点「STATION Ai」を2024年10月供用開始予定。2020年1月に早期支援拠点を開設、2021年4月に「PRE-STATION Ai」に拡充し、STATION Ai供用開始まで切れ目のない支援を実施。
- ●小中高生向け起業家教育から世界を目指すJ-Startup CENTRAL企業の集中支援まで幅広い取組を実施。また、スタートアップと地元企業との共創を促進（愛知県、名古屋市）。
- ●浜松市の認定VCが市内スタートアップに投資した場合、同額を市からスタートアップに交付するファンドサポート事業を実施する等、浜松市と地元支援者が協力してスタートアップを支援。先輩経営者による支援で地域の好循環を創出。

**大学の取組**
- ●東海地域21大学が連携しアントレプレナーシップ教育を行う「Tongaliプロジェクト」を学生や若手研究者を対象に提供。

**環境**
- ●STATION Ai（愛知県）、ナゴヤイノベーターズガレージ（中部経済連合会・名古屋市）、なごのキャンパス（トヨタ不動産等・名古屋市）、Idea Stoa（Tongali）、Co-startup Space＆Community「FUSE」（浜松市）等のスタートアップ支援拠点において交流・育成を促進。

**グローバル**
- ●5か国、14の先進的なスタートアップ支援機関や大学との連携体制を構築。（愛知県）
- ●STATION Aiを核とするスタートアップ・グローバルコミュニティを形成。

※上記のうち、「ユニコーン」には上場等EXITした企業を含む場合がある

現状

# スタートアップ・エコシステム拠点都市の取組の概況（2/3）

| 開始時（2020年度～） | 実績（2023年度末） | KPI（2024年度末） | KPI達成率（2023年度末） | 主な取組 |
|---|---|---|---|---|
| **大阪,京都,神戸** | | | | **京阪神３地域共通の強みであるバイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス、ものづくり、IT分野において、地域間のシナジー効果を発揮し、スタートアップの創出・育成を推進。**<br>**自治体の取組**<br>●J-Startup KANSAIで選定した有望スタートアップを京阪神の施策で優先的に支援し飛躍的成長をサポート。<br>●スタートアップによる行政課題解決と公共調達を推進するUrban Innovation Kobeを、Urban Innovation Japanとして全国展開。<br>**大学の取組**<br>●京阪神の強みであるバイオ・ヘルスケア分野のシーズを生かし、製薬企業等と連携して大学発ベンチャーを育成。京都大学を中心とし、大学、経済団体、金融機関、自治体等が一体となり「京阪神スタートアップ　アカデミア・コアリッション」として連携。<br>**環境**<br>●京都経済センターのオープンイノベーションカフェ（KOIN）（京都市）、大阪イノベーションハブ（OIH）（大阪市）、ANCHOR KOBE/起業プラザひょうご（神戸市）等の、スタートアップ育成・連携の場を整備。<br>**グローバル**<br>●国際イノベーション会議Hack Osakaにおいて、イノベーションの成果を世界に発信。世界に起業家が挑戦するピッチコンテスト、商談会等を実施。海外アクセラレーター（500 Startups、Plug and Play）を誘致。 |
| ユニコーン | | | | |
| 0社 | 1社 | 5社 | 20% | |
| スタートアップ創出 | | | | |
| 271社（過去5年） | 800社増 | 542社増 | 達成 | |
| 大学発ベンチャー | | | | |
| 82社（過去4年） | 239社増 | 214社増 | 達成 | |
| **福岡** | | | | **都市機能やスタートアップ支援施設がコンパクトに集積する福岡においてスタートアップを創出・育成し、スタートアップが福岡からアジア・世界へ展開するエコシステムを形成。**<br>**自治体の取組**<br>●福岡地域戦略推進協議会（FDC）の協力を得ながら、スタートアップコミュニティの形成を促進。新規創業促進補助金を活用した、会社設立時の登録免許税実質0円での創業を実現するなど、すそ野を広げる取り組みに加え、IPOに向けた成長支援プログラムを実施。また、社会課題解決に向けた実証実験を全面的にサポートする「実証実験フルサポート事業」により公民連携の支援を推進。<br>**大学の取組**<br>●九州大学が中心となり、文部科学省事業EDGE-NEXTによるアントレプレナーシップ教育等を推進。また、プラットフォーム（GAP NEXT）において、大学発ベンチャーシーズに全国で募集した事業化サポート人材を配置するCXOプロジェクトを開始。<br>**環境**<br>●誰でも気軽に創業相談が可能な「スタートアップカフェ」に加え、官民共働のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」や、エンジニアフレンドリーシティ実現のため、「エンジニアカフェ」によるコミュニティ活動等を支援。<br>**グローバル**<br>●スタートアップビザ、スタートアップ賃料補助、スタートアップ法人減税、グローバルスタートアップセンターでの支援、Fukuoka Growth Nextでの成長支援を実施。これらを「福岡市スタートアップ・パッケージ」として発信し、海外から起業家を呼び込み。<br>●フィンランド(ヘルシンキ市)等11ヵ国・地域・15拠点とのMoU等による連携を活かし福岡と海外双方のスタートアップの進出・マッチングを支援。 |
| ユニコーン | | | | |
| 0社 | 1社 | 5社 | 20% | |
| 時価総額10億超 | | | | |
| 32社 | 61社 | 100社 | 61% | |
| スタートアップVISA認定数 | | | | |
| 57社 | 114件 | 114件以上 | 達成 | |

※上記のうち、「ユニコーン」には上場等EXITした企業を含む場合がある

現状

# スタートアップ・エコシステム拠点都市の取組の概況（3/3）

| 開始時（2020年度～） | 実績（2023年度末） | KPI（2024年度末） | KPI達成率（2023年度末） | 主な取組 |
|---|---|---|---|---|
| **札幌** | | | | **北海道の基幹産業である農業、漁業、林業等の１次産業や、広大な実証フィールドを生かした宇宙産業等、北海道の強みを生かし、札幌市が中心となり帯広市などと連携し北海道全域のスタートアップ・エコシステムを形成。**<br>**自治体の取組**<br>●札幌市の支援施策STARTUP CITY SAPPOROや大規模イベントNoMapsを中心として起業家育成、スタートアップと自治体とのマッチング、ピッチコンテスト、先端技術展示・実証等を実施。J-Startup HOKKAIDOで北海道全域から企業を選定し支援。<br>●ライフサイエンス分野に特化した官民ファンド設立。地元企業によるインキュベーション拠点等民間の取組も活発化。<br>**大学の取組**<br>●北海道大学が地域の大学と連携し社会課題や大学等の研究開発成果を基にした起業を促進。また、北欧発の国際的な企業課題解決ネットワークDEMOLAに参画し、企業や地域の課題解決を通してアントレプレナーシップ教育を実施。 |
| 当該年度で資金調達するスタートアップ | | | | |
| 23社/年 | 20社 | 50社 | 40% | |
| 当該年度での資金調達額 | | | | |
| 34億円 | 63億円 | 100億円 | 63% | |
| **仙台** ユニコーン | | | | **東日本大震災を契機として社会課題解決を志向する起業家が増加する「ソーシャルイノベーターの聖地・仙台」を中心として、東北地域から国内外の課題解決に資するスタートアップを創出。**<br>**自治体の取組**<br>●J-Startup TOHOKU等によりイノベーションの創出及び社会的課題解決等を目指しながら事業拡大するスタートアップを支援。東北グロースアクセラレーター、SENDAI NEW PUBLICによる支援や、SENDAI for Startups! 等のイベントを開催。<br>●震災を契機に国際連携。INTILAQ設立、MAKOTOとイスラエルの連携による支援プログラム提供など、民間の取組も活発化。<br>**大学の取組**<br>●材料科学、スピントロニクス等に強みを有する東北大学において、学生向け東北大学アクセラファンド、EIR（住み込み起業家）、東北全域等の大学発ベンチャーを対象とするみちのくギャップファンド設立。スタートアップ育成、成長支援等をシームレスに実施。<br>※ユニコーン企業1社は東北大学発SU「クリーンプラネット」 |
| 0社 | 1社※ | 1社 | 達成 | |
| スタートアップ創出（累計） | | | | |
| 29社 | 370社 | 300社 | 達成 | |
| 資金調達額(単年度) | | | | |
| 25億円 | 62.2億円 | 50億円 | 達成 | |
| **広島** | | | | **海・山・都市が近接した実証フィールドと，国際平和都市としての世界的知名度を活かし、平和都市として世界に知られる広島から社会課題解決を目指すイノベーションを創出。**<br>**自治体の取組**<br>●イノベーション・ハブ・ひろしまCampsを拠点としてエコシステムを形成。ひろしまサンドボックスで新技術のマッチングや実証を行い、課題解決を目指すスタートアップを集積。マツダのリードで産学官金が連携し、ものづくりのデジタル化を担う人材育成及び研究開発を推進。広島県出資ファンド等により地元スタートアップに資金供給。T-Hub（インド）とパートナーシップ締結。<br>**大学の取組**<br>●地域の産学官金のプラットフォームを構築し、企業ニーズと大学シーズをDXで迅速にマッチング。米アリゾナ州立大経営大学院を広島大に誘致すると共に、東広島市との一体的活動で地域課題解決を行う国際交流拠点整備。学生起業支援強化。 |
| イノベーション活動実行企業率 | | | | |
| ―% | 53.6% | 50% | 達成 | |
| イノベーション実現企業率 | | | | |
| ―% | 42.2% | 45% | 94% | |
| **北九州** ユニコーン | | | | **公害を克服した北九州市はSDGs未来都市実現を目指し、環境・ロボティクスの強みを活かしたエコシステムを形成。**<br>**自治体の取組**<br>●市の創業支援の拠点COMPASS小倉内に開業ワンストップセンターと、雇用労働相談センターを設置。民間主体のグローバルアクセラレーションプログラムによる伴走支援や北九州市が認定したVCが投資したスタートアップ企業に対し事業化や技術開発に必要な経費を支援するスタートアップSDGsイノベーショントライアル事業を通じて成長を支援。<br>**大学の取組**<br>●九州工業大学を中心とした産学連携と起業支援で、環境・ロボティクス分野で日本版IMEC（ベルギー）を目指す。 |
| 0社 | 0社 | 1社 | ― | |
| 市内スタートアップ | | | | |
| 22社 | 73社 | 100社 | 73% | |

※上記のうち、「ユニコーン」には上場等EXITした企業を含む場合がある

国際比較

# 世界から見た日本のスタートアップ・エコシステムは・・・

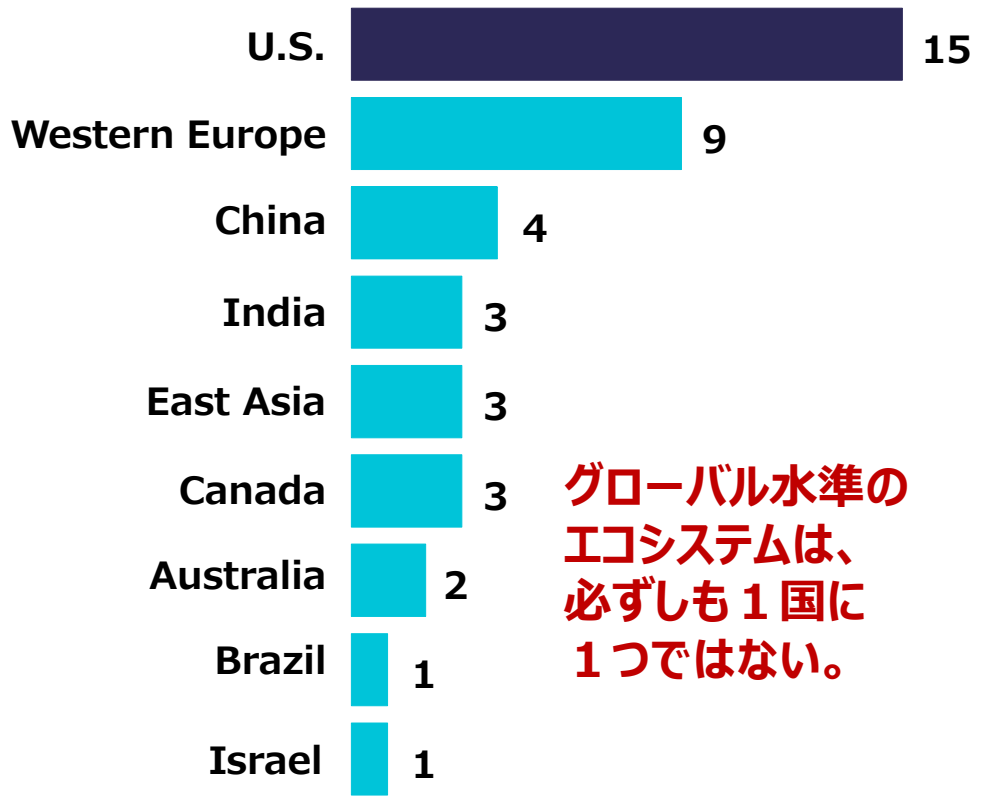
## スタートアップエコシステムランキング（Startup GENOME社）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | Silicon Valley | 11 | Shanghai |
| 2(tie) | New York City | 12 | Washington D.C. |
| 2(tie) | London | 13 | The Netherlands |
| 4(tie) | Los Angeles | 14 | Paris +4 |
| 4(tie) | Tel Aviv | 15 | Berlin |
| 6 | Boston | 16 | Miami +7 |
| 7 | Singapore | 17 | Chicago +2 |
| 8 | Beijing | 18 | Toronto-Waterloo |
| 9 | Seoul +3 | 19 | San Diego |
| **10** | **Tokyo +5** | 20 | Seattle |

評価指標

| | | |
|---|---|---|
| Performance | エコシステム価値<br>エグジット、SU成功状況 | 30% |
| Funding | アクセス、質、投資家の活動 | 25% |
| Talent & Experience | スケールアップ経験、<br>スタートアップ経験、<br>テック人材 | 20% |
| Market Reach | グローバル化リーダー企業、<br>国内マーケットのカバー、<br>海外とのネットワーク | 20% |
| Knowledge | パテントなど | 5% |

## 国あるいは地域における トップ40以内のエコシステム数（東京は東アジアとしてカウント）




**グローバル水準のエコシステムは、必ずしも１国に１つではない。**

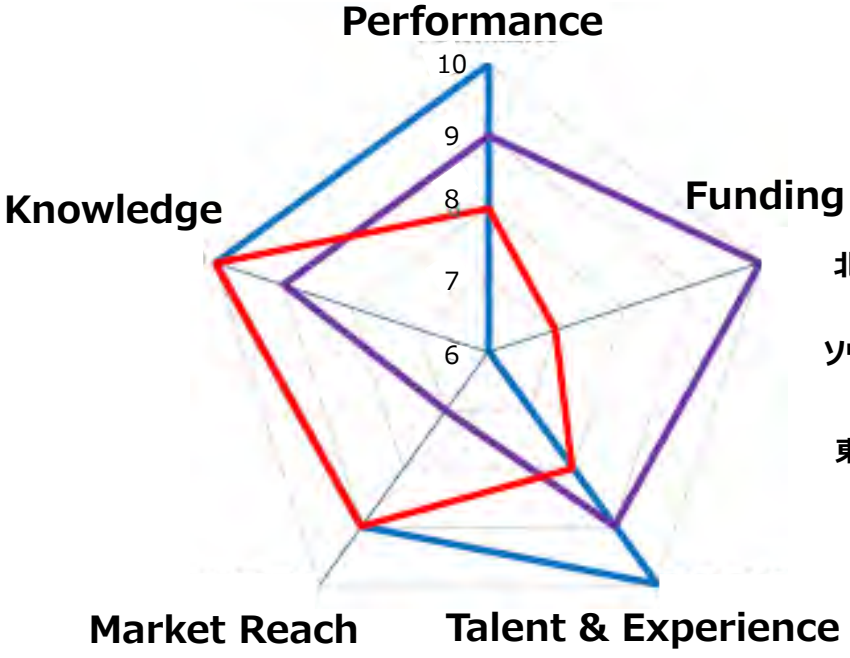
**米中印に限らず、カナダやオーストラリアでも、複数のエコシステムが１国内に存在。**

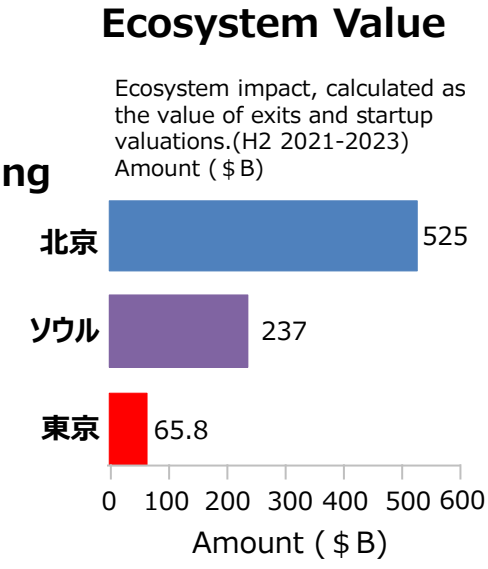
出典：Startup GENOME “Global Startup Ecosystem Report 2024”より内閣府作成

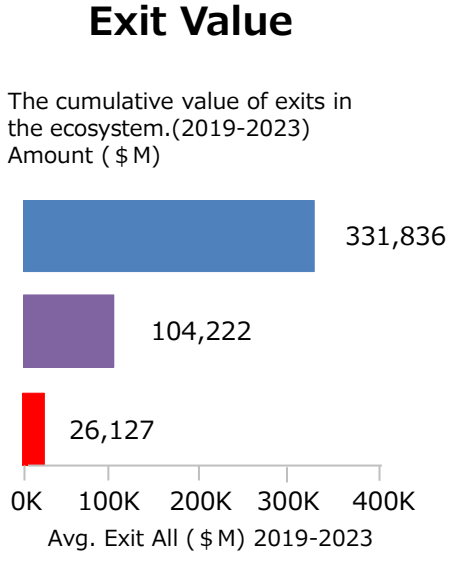
# スタートアップ・エコシステムのアジア比較

Startup GENOMEのレポートにおいても、日本の課題は明白。
グローバル水準に近付くためには、Performance（エグジット、SU成功状況等）、Funding（投資の質・量、アクセス）の伸びが必要。

■ **日中韓の首都比較 (— 東京, — 北京, — ソウル)**




https://startupgenome.com/ecosystems

出典：Startup GENOME “Global Startup Ecosystem Report 2024”より内閣府作成

現状分析

# スタートアップ・エコシステム拠点都市の現状を踏まえた分析

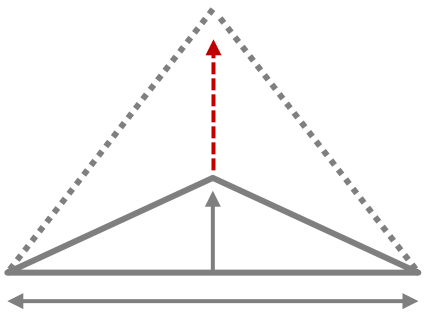
**＜達成できている点＞**

- ✓ **大学発を含むスタートアップ創出数**は概ね達成。
- ✓ **行政課題解決プロジェクト創出数やビジネスマッチング件数等の共創数**についても概ね達成。
- ✓ その他、各都市において**エコシステム内の繋がり**は形成できつつある。

**＜発展途上である点＞**

- ✓ グローバルに成長する、**稼げるスタートアップ**を創出できていない。
- ✓ **投資などの面で、海外のスタートアップ・エコシステムとの繋がり**が十分に構築できていない。

**縦の伸びに課題**



**横を伸ばす支援は拡充**

**各拠点都市が、スタートアップの成長を加速させる**ために、
**グローバル水準の都市エコシステムへ引き上げることが重要**

# Startup City Project Network

✓ **スタートアップ・エコシステムのステークホルダーたちが、各拠点都市の中での交流にとどまらず、国と各拠点都市間での交流をさらに進め、日本全体としてのネットワークを構築しようとするための新たな取組を本年７月から開始。**

**＜狙い＞**

- エコシステムが直面する課題を共有し、解決について考える
- エコシステムに関わる実務者が拠点都市の枠を超えて人脈形成
- 各エコシステムの個性や特色を最大に生かしつつ、拠点都市と日本全体のエコシステムの未来を一緒に考える

**＜取組＞**

- Startup City Project Networkの「場」を活用した拠点都市の実務者とのワークショップ等による対話を通じて、スタートアップ・エコシステム拠点都市形成に向けた今後について検討

**拠点都市の現状と課題を抽出** → **国・拠点都市を超えて対話** → **対話を踏まえた拠点都市の今後を検討**

**＜活動実績等＞**

**国・拠点都市の実務者が立場を超えて人脈形成し、一緒に方向性を検討していく**

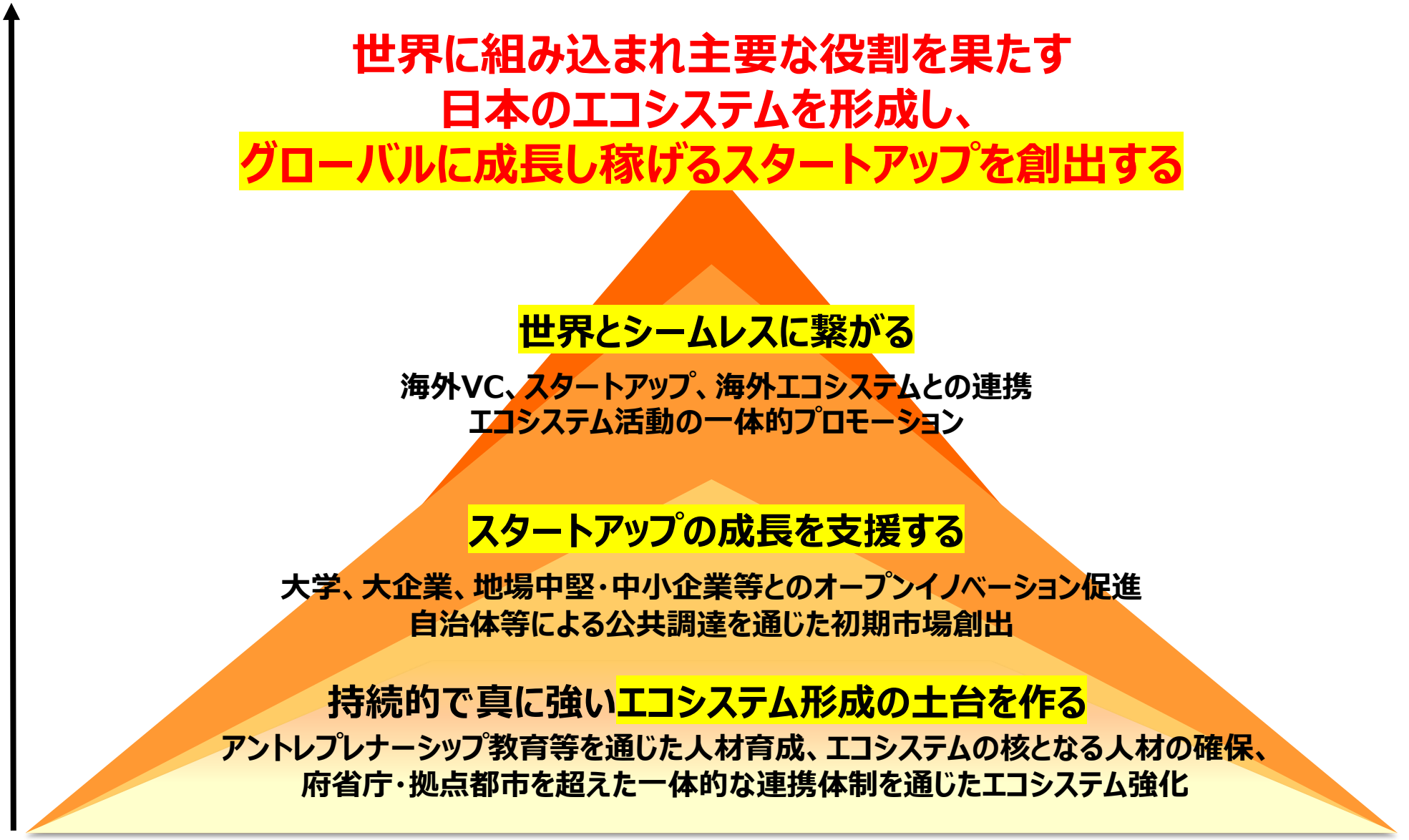
| | テーマ | 日程 | 開催方法 |
|---|---|---|---|
| キックオフ | スタートアップ・エコシステム拠点都市フォローアップ報告会<br>～スタートアップ・エコシステム拠点都市の未来～（パネルディスカッション） | 令和6年7月30日（火） | 大阪大学中之島センター<br>（大阪府大阪市） |
| 第１回 | 拠点都市報告会の振り返り | 令和6年8月7日（水） | オンライン |
| 第２回 | スタートアップ・エコシステム拠点都市のグローバル展開促進に向けて | 令和6年9月13日（金） | 社交場 ヤング（札幌市役所本庁舎内）<br>※オンライン併用 |
| 第３回 | 持続的なエコシステム構築に向けたコンソーシアムの在り方について | 令和6年10月16日（水） | オンライン |
| 第４回 | スタートアップの成長を促進するためのオープンイノベーション（多様な主体との共創）や公共調達の促進 | 令和6年11月1日（金） | Station Ai（愛知県名古屋市） |
| 第５回 | アントレプレナーシップ教育の推進 | 令和6年12月4日（水） | オンライン |

✓ 今後も月1回程度ワークショップ等を開催し、拠点都市形成に向けた今後について検討していく。

方向性

# 拠点都市をグローバル水準に引き上げるための全体ビジョン

スタートアップの数から成長へ




横を伸ばす支援は拡充

方向性

# 次期拠点都市におけるエコシステム形成の基本的考え方

- ✓ **スタートアップの成長を加速させるため、**各拠点都市が有する強みを活かして**グローバルに接続したエコシステムを形成する**とともに、**エコシステムの裾野を拡大**させる。
- ✓ このため、**現行拠点都市の枠組みについて以下の3類型へ発展的に改組**し、また、現行拠点都市外でも大学発スタートアップ創出等を目指したエコシステムの活動が活発化している状況に鑑み、**公募により、原則、NEXTグローバル拠点都市として数か所程度新規選定**。

**《現行枠組み》**

グローバル拠点都市

推進拠点都市

・成長加速に向け、更なるグローバル化推進など次フェーズの取組へ。

・その際、都市の特性に応じた取組を推進。

・裾野拡大に向け、数都市を新規選定

**《新しい枠組み》**

グローバル拠点都市

**広域ネットワーク型：**自治体・支援機関・大学など多様で複層的なプレイヤーを有する強みを生かして**多数の分野・領域や都市を中心として世界的なネットワークを形成する**エコシステム

**中核都市型：**数個程度の分野への重点化や特色の強化などを通じ**中核となる都市を中心として海外エコシステムとの強固な連携体制を構築する**エコシステム

**Startup City Project Network**
を通じた日本全体での連携

NEXTグローバル拠点都市

**地域の尖がった産業構造やリソースを活かして、地域経済を活性化しながら海外エコシステムにも繋がる**エコシステム

# 『基本的考え方』に基づく新たな拠点形成計画の募集について

令和７年１月

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

方向性

# 次期拠点都市におけるエコシステム形成の基本的考え方（再掲）

- ✓ **スタートアップの成長を加速させるため、**各拠点都市が有する強みを活かして**グローバルに接続したエコシステムを形成する**とともに、**エコシステムの裾野を拡大**させる。
- ✓ このため、**現行拠点都市の枠組みについて以下の3類型へ発展的に改組**し、また、現行拠点都市外でも大学発スタートアップ創出等を目指したエコシステムの活動が活発化している状況に鑑み、**公募により、原則、NEXTグローバル拠点都市として数か所程度新規選定**。

**《現行枠組み》**

グローバル拠点都市

推進拠点都市

・成長加速に向け、更なるグローバル化推進など次フェーズの取組へ。

・その際、都市の特性に応じた取組を推進。

・裾野拡大に向け、数都市を新規選定

**《新しい枠組み》**

グローバル拠点都市

**広域ネットワーク型：**自治体・支援機関・大学など多様で複層的なプレイヤーを有する強みを生かして**多数の分野・領域や都市を中心として世界的なネットワークを形成する**エコシステム

**中核都市型：**数個程度の分野への重点化や特色の強化などを通じ**中核となる都市を中心として海外エコシステムとの強固な連携体制を構築する**エコシステム

**Startup City Project Network**
を通じた日本全体での連携

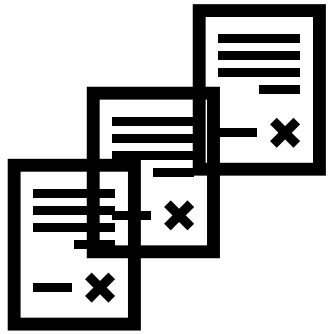
NEXTグローバル拠点都市

**地域の尖がった産業構造やリソースを活かして、地域経済を活性化しながら海外エコシステムにも繋がる**エコシステム

# 募集対象について

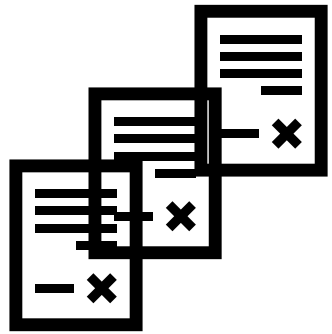
## 現行拠点都市

- 東京圏
- 北海道・札幌
- 中部圏
- 仙台
- 京阪神
- 広島
- 福岡
- 北九州



現行拠点形成計画

アップグレード



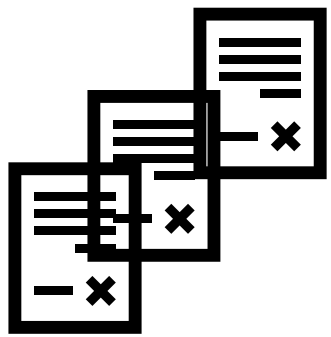
第2期拠点形成計画
（様式１－１）

**応募**

## 新規申請都市

新たに策定

○○○



第2期拠点形成計画
（様式１－２）

**応募**

# 申請書の記載事項について

## 申請書様式１－１（既存拠点都市用）

１．スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿・KPI
（１）エコシステムの現在地と5年後の目指す姿 （２）世界に発信できるセールスポイント（イチ推しポイント）
２．世界とシームレスに繋がる
３．スタートアップの成長を支援する
⇒実績と目標、今後の取組
４．エコシステム形成の土台を作る
（１）アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成（２）エコシステムを支える人材・組織の確保
⇒実績と目標、今後の取組

## 申請書様式１－２（新規拠点都市用）

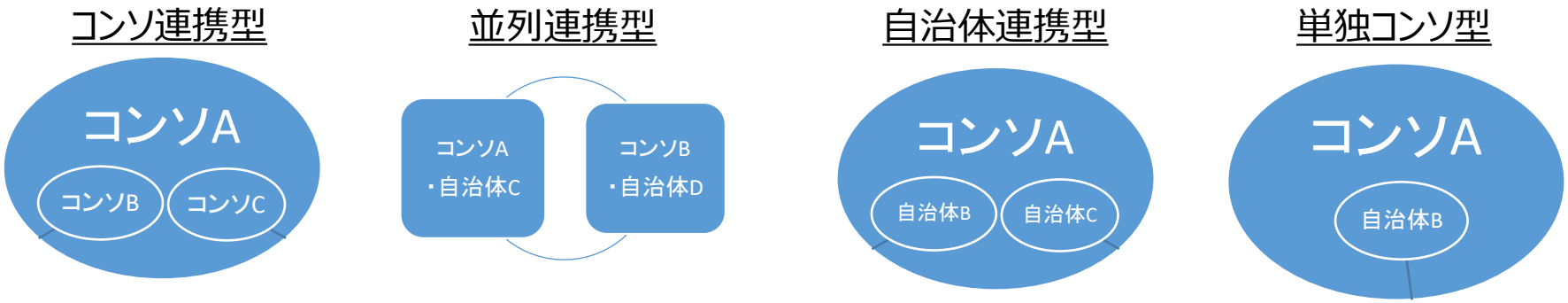
１．スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿・KPI
（１）応募の背景（２）エコシステムの現在地と５年後の目指す姿
（３）世界に発信できるセールスポイント（イチ推しポイント）
２．地方自治体の取組
（１）首長の方針（２）総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけとKPI・KGI
（３）スタートアップ支援部署の体制（４）スタートアップ支援事業にかかる予算
３．中心となるコンソーシアムの取組
（１）コンソーシアムの構成（現在の状態と５年後目指す姿を記載）（２）各主体が担う役割
４．産業の特性
（１）注力する産業領域（２）当該産業の可能性
５．コンソーシアム内での取組内容
（１）これまでの取組（２）スタートアップ・エコシステム形成に向けた今後の取組

# 応募要件と選定期間について

## 応募要件

応募対象者が満たすべき要件は、以下のとおりとします。

① 地方自治体、大学、民間組織等を含むコンソーシアム等の団体であること
② 法令や公的機関との契約等に違反する事実や税金の滞納等が無いこと
③ 政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと
④ 暴力団に該当せず、又は法人その他団体の代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員に暴力団員等に該当する者がいないこと
⑤ その他、本事業を行うにふさわしくないと判断されるような事実を有していないこと




※並列連携型については、一体的でかつ持続的なエコシステム形成に向け、中間評価（令和10年度実施予定）までにコンソ連携型又は自治体連携型を目指してください。
※上記のコンソA、B、Cについては、コンソーシアム規約等を整備していただき、共通の目的・目標に沿った活動が実施可能な状態にしてください。
（注：本応募に向けてコンソを新設される場合は、第2期拠点都市公表後、速やかにコンソーシアム規約等を公開できるよう整備を進めてください。）

## 選定期間

選定日～令和11年度末

# 応募方法について

**応募方法**

①内閣府WEBサイトから「提出様式（申請書、様式１－１or１－２、様式２）」をダウンロード
（WEBサイト：https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/2ndconcept.html

QRコード

②内閣府の事前登録フォームに登録し、提出先のメールアドレスとパワーポイント形式の様式を入手
（事前登録用URL：https://forms.office.com/r/u3PZAUnh4U）

QRコード

③（質問事項等あれば、） ２月28日までに提出先アドレス宛に質問

④応募書類に必要事項を記入し、公募締切までに提出先メールアドレス宛に提出

# 審査・選定の考え方について

✓ 審査・選定は、**各都市における拠点形成計画に基づいて行います。**
✓ 審査にあたっては、**申請書による書類審査やヒアリング審査を基に、以下の観点を中心に評価を行います。**

**＜既存８拠点都市＞**

① エコシステムの将来像が**野心的かつ具体的（適切なものについては定量的）に設定**されているか
② **世界とシームレスに繋がる**（海外エコシステムとの連携強化、海外スタートアップの呼び込み、海外展開支援、産業・研究の特性などを踏まえた特に注力する領域・分野の設定など）**ための実施内容とその計画、目標が適切に設定**されているか
③ **スタートアップの成長を支援する**（オープンイノベーション促進、公共調達まで繋がる取組の充実、J-Startup・J-startup 地域版などの既存スタートアップ支援施策との連携など）**ための実施内容とその計画、目標が適切に設定**されているか
④ **エコシステム形成の土台を作る**（アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成、持続的なエコシステム体制構築）**ための実施内容とその計画、目標が適切に設定**されているか。

**＜新規選定都市＞**

① エコシステムの将来像が**具体的（適切なものについては定量的）に設定**されているか
② **自治体の推進力を十分に有しているか**
③ 大学等を中心とした**産学官金等プレイヤーの多様性や取組内容が充実**しているか
④ 産業・研究の特性などを踏まえた**特に注力する領域・分野の設定が明確**か
⑤ **エコシステムでの取組**（アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成、スタートアップに対する成長支援、グローバル化など）**の実施内容が充実したもの**になっているか。

審査・選定

# 今後の全体スケジュール

※「基本的考え方」公表時点。今後スケジュール変更もありうる

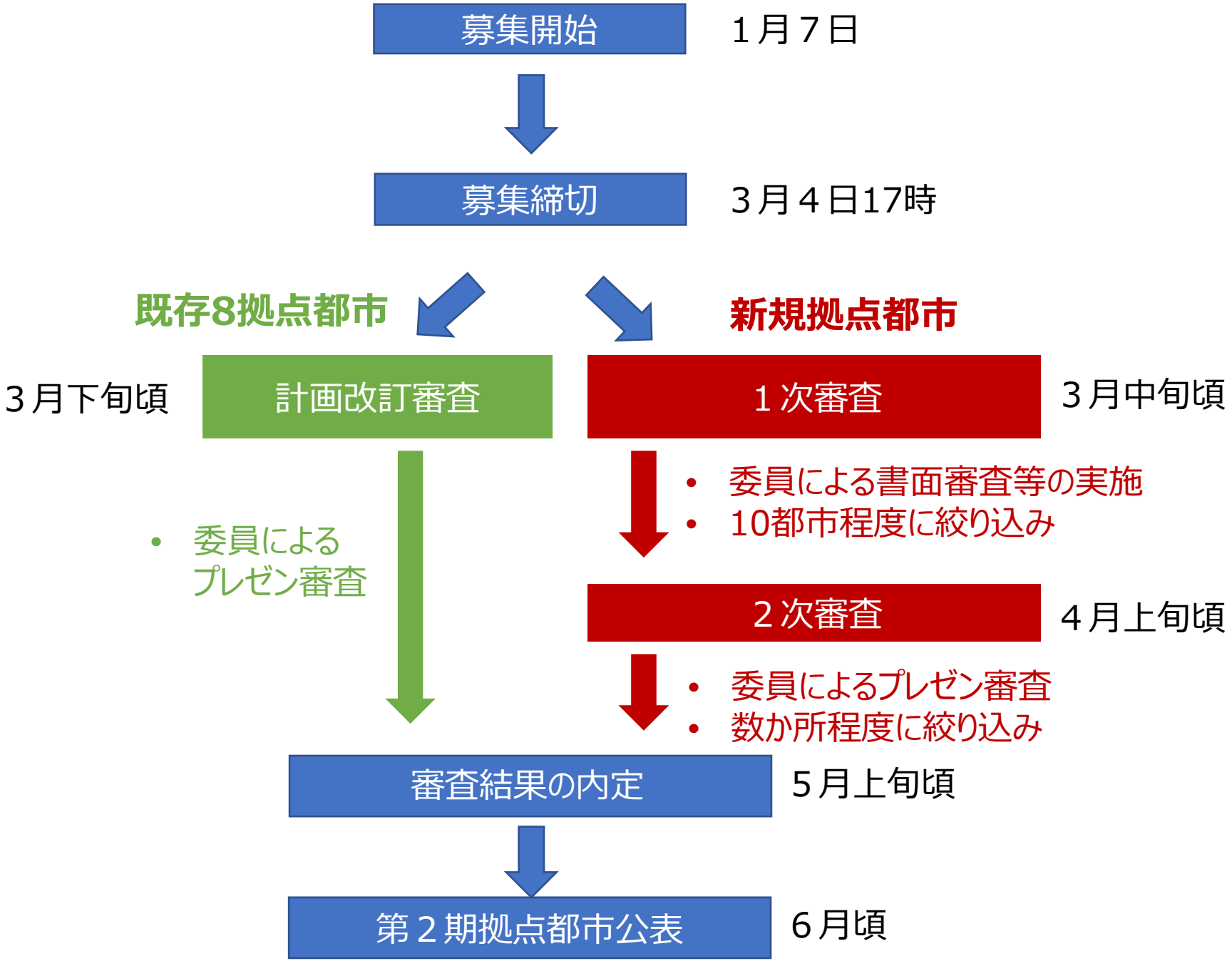
**１月７日**　　**基本的考え方　公表**
**基本的考え方に基づく次期拠点都市　募集開始**

**３月４日**　　**募集締切**

**（審査）**　← 次ページにて詳細説明

**６月頃**　　**次期拠点都市　決定**
**第２期スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略　公表**
※戦略公表に併せ、政府支援パッケージをとりまとめる予定

# 審査・選定の流れ（現時点案）



# 今後の関連イベント情報

✓ **Startup City Project Network第６回ワークショップ**

- １月24日（金）12時～13時30分（予定）（個別相談会10時～11時40分,13時40分～15時10分）
- 場所：Tokyo Innovation Base（東京都千代田区丸の内3-8-3）
- テーマ：「日本全体でエコシステムを形成するために、このSCPNをどんな「場」にしていくか（仮）」

| 時間 | アジェンダ |
|---|---|
| 10:00～11:40 | 第2期拠点都市に関する個別相談会（ターム１）<br>※SCPN第6回WSに現地参加する方限定<br>・10:00～10:30（①小村様②藤本様③石井様④阿部様）<br>・10:35～11:05（⑤小村様⑥藤本様⑦石井様⑧阿部様）<br>・11:10～11:40（⑨小村様⑩藤本様⑪石井様⑫阿部様） |
| 12:00 | 開会・挨拶 |
| 12:05～12:55 | ・パネルディスカッション<br>テーマ：「日本全体でエコシステムを形成するために、このSCPNをどんな「場」にしていくか（仮）」<br>（パネリスト）内閣府SCPNコーディネーター、中小機構 石井部長 |
| 13:00～13:30 | ・ネットワーキング、閉会 |
| 13:40～15:10 | 第2期拠点都市に関する個別相談会（ターム２）<br>※SCPN第6回WSに現地参加する方限定<br>・13:40～14:10（⑬藤本様⑭阿部様）<br>・14:15～14:45（⑮藤本様⑯阿部様）<br>・14:50～15:20（⑰藤本様⑱阿部様） |

申込はコチラ！

【ワークショップ申込〆切】
1月23日（木）17時
**【個別相談会申込希望の方】**
**1月16日（木）17時（厳守）**

✓ **スタートアップ・エコシステム拠点都市推進協議会支援策活用促進ワーキング・グループ**

- １月24日（金）14時30分～16時45分（予定）
- 場所：Tokyo Innovation Base（東京都千代田区丸の内3-8-3）
- スタートアップ支援機関連携協定（通称「Plus “Platform for unified support for startups”」）と連携し、政府が実施するスタートアップ支援策に関する事業概要、公募スケジュール等について、自治体担当者、スタートアップ企業、支援機関等へ情報提供いたします。

申込はコチラ！

**【申込〆切】**
**1月23日（木）17時**

# 公募説明会後のご質問について

①内閣府の事前登録フォームに登録し、提出先のメールアドレスを入手
（事前登録用URL：https://forms.office.com/r/u3PZAUnh4U）
※この時点でご質問がある場合は、フォームでのご入力が可能です。

QRコード

②（質問事項等あれば、） ２月28日までに提出先アドレス宛に質問

※皆様よりお寄せいただいたご質問と回答については、定期的にWEBサイトにて公開する予定ですので、そちらもご覧ください。

WEBサイト
QRコード